



綾北小学校の“ふれあいフェスティバル”に協力

綾北小学校PTA（保坂敦会長）が主催する“第17回地域ふれあいフェスティバル”は、11月15日（土）に同校グラウンドを会場として行なわれた。好天に恵まれた当日は午前10時からセレモニーに続いて同校の先生方が動物のかぶり物などを着けてのパフォーマンスに、集まった児童たちは大喜びでした。続いて、北の台中学校の吹奏楽部の生徒による演奏にも児童達は聴き入っていました。

フェスティバルは、校区内の大上自治会（2・3・4・9区が校区）と寺尾綾北自治会が共催し、青少年健全育成会、老人会、そして市消防署北分署や大上地区社協も協力。

会場では、豚汁、フランクフルト、やきとり、カレー、銀杏・

花苗等の販売や竹とんぼ、昔あそび、ストラックアウト、スカットボール等で参加した子ども達300人、そして保護者や地域の皆さん300人の600人が晴天の下での秋の一日を楽しんでいました。

大上地区社協は、市ノ澤会長以下6名が参加してストラックアウトのゲームを担当して子ども達を楽しませていました。



的に向かってボールを投げるストラックアウト

今年も“ファミリー秋祭り”に協賛

大上3丁目（大上自治会9区）にある綾瀬市の補助金で運営されている障がい者の通所施設「ファミリー」は、11月23日（日）に、今年も“ファミリー秋祭り”を催した。

当日は、通所者が作った味噌やしおり等の自主製品の販売や、協賛団体が出店した味噌田楽、フランクフルトやコーヒー等の販売に、挨拶に来場された笠間市長、地元選出の市議会議員や地域の皆さんが大勢集まっていました。

大上地区社協は、この催しに大上自治会や綾北地区民生委員児童委員協議会と共に協賛しており、ファミリーがある9区の奥田理事が実行委員として参画しています。



ファミリー秋祭りの会場入口

北の台小学校との交流は続く 下校見守り会員への「感謝の会」と「学年発表会」に招待を

大上地区社協は、事業の柱の1つとして校区内の2つの小学校の児童の登下校時の見守りを実施していますが、今年も北の台小学校の西木校長から“下校見守りの皆さんを学校に招いて「感謝の会」を催したい”との案内状が届き、11月18日（火）に開催された。

当日は、同校体育館へ午前8時25分に全校児童484名が集まった“朝の児童集会”で、大上地区社協の見守り会員9名と蓼川の見守り隊員5名が出席。始めに児童代表の感謝の言葉があり、続いて児童手作りの感謝状が両代表に贈られた後、児童全員が“もみじ”を合唱し、最後に大上地区社協からは市ノ澤会長がお礼の挨拶があって感謝の会は終わった。

一方、同校の伝統として毎年実施され、見守り会員も招待されている「学年発表会」が今年も6月6日（金）に2年生と6年生が行ない（社協ニュース70号で既報）、続いて10月31日（金）に4年生の「合奏」と5年生が「龍神太鼓」を発表。そして11月28日（金）には1年生と3年生の「合奏と合唱」がそれぞれ披露され、各学年とも日頃の練習の成果を存分に発揮している姿に、見学している保護者と共に招待された大上地区社協会員も盛んに拍手を送っていました。